



## コガモ (*Anas crecca*) カモ科 上;メス、下:オス

冬鳥として、日本全国に飛んできます。群れを作って生活しています。

池の藻や水草などの植物を食べています。オスは、ピリピリッ、メスは、クウェックウェツと鳴きます。

3月になると、オスとメスがペアになって、ユーラシア大陸や北米大陸にわたります。そこで、草地に巣を作り産卵して子供を育てます。

写真は、土師地区の中の池で撮影しました。



## ミシシッピアカミミガメ (*Tachemys scripta elegans*)

ヌマガメ科

アメリカ合衆国南部からメキシコ北部にかけて分布するカメで、日本には1950年代に持ち込まれました。ミドリガメという名前で子亀が販売されて全国に広がり、1960年代後半に野外で見つかるようになりました。

ため池では、日本のイシガメが競争に負けて姿を消し、フナも食べられていなくなりました。水草のヒシ等も食べられます。

写真は、土師地区の中の池で撮影しました。



## ギンヤンマ (*Anax parthenope*)

ヤンマ科

4月から11月にかけてため池で見られます。昼間は水面近くを速く飛び回り、なかなか止まりません。夏の朝早く、ため池で高いところを群れて飛ぶギンヤンマを見たことがありました。産卵する時には、写真のようにオスとメスが繋がって水草に止まり、草の中に一粒ずつ卵を産み付けます。ヤゴが冬を越して、春にはオタマジャクシなどを食べて成長します。

写真は、土師地区の中の池で撮影しました。

## アキノキリンソウ (*Solidago* *virgaurea* *var. asiatica*)

キク科

高さは70～80cm  
となり8～11月に黄色  
い花をつけます。北海  
道から九州、朝鮮に分  
布します。

日当たりのよい場所  
に生えます。秋草を代  
表して、小学校の教科  
書や絵本などでよく紹  
介されました。

生育環境が荒廃して  
見られる場所が少なくなり、外来種のセイタカアワダ  
チソウにとって代わられました。ため池の堤防は数  
少ない生育地です。



写真は、土師地区の新池で撮影しました。



## オオトリゲモ (*Najas oguraensis*)

トチカガミ科

北海道を除く湖沼やため池で見られる植物で、水中で生育します。香寺のため池では、泥におおわれて、水中に黒っぽい塊りがあるように見えます。

和名は、鳥の羽毛のようにみえる藻というところから名づけられています。

茎は細く円柱形で折れやすく、長さ50cmを超えることもあります。10月から11月にかけて、小さな黄色い花が水面に浮かぶようにして沢山咲いています。

写真は、土師地区の中の池で撮影しました。